

講義名	国文学			
担当教員	上森 鉄也			
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 4時限	授業形態	講義	
履修開始年次	1年生	単位数	2	備考
<b>主題と概要</b>				
<p>「古事記」の上巻である日本神話を読むことにより、奈良時代の人々の思想や文化などを理解する。同じ日本の文学作品とはいえ、時代が異なれば人々の習慣や考え方も異なる。ひとつの作品を理解するためには、現代人の理論で考えるのではなく、それぞれの作品が成立した時代背景や思想感情が異なることを学ぶ。</p> <p>例えば、日本神話では、日本の国や神々はイザナキ・イザナミという二人の神が、ミトノマガハヒという行為によって生み出している。しかし、その際二人の神は「天御柱」の周りを廻っており、しかもイザナキは左からイザナミは右から廻っている。そして、まずイザナミが声をかけ、つぎにイザナキが声をかけており、結果として失敗する。この場合、なぜ「天御柱」の周りを廻る必要があるのか、イザナキは左からイザナミは右から廻るのか、なぜ失敗したのかなどが問題であり、その理由を考えようというのである。</p>				
<b>到達目標</b>				
受講生が「古事記」の日本誕生神話とその背景となる古代日本人の習慣や考え方を理解し、説明できるようにする。そして、一見理解不能のように見える異文化の習慣や考え方もその通った理由があるのであって、自分たちと違う文化や考え方を簡単に拒否せず、理解しようとする姿勢を身につける。				
<b>提出課題</b>				
中間試験として、レポート試験を行う。				
<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b>				
授業において行う。				
<b>評価の基準</b>				
最終的な評価は、中間期のレポート試験（点数配分20%）及び期末試験（点数配分80%）の合計により行う。レポートは、800～1200字とする。期末試験は、講義内容を十分理解しているかどうかを問う問題を出題するが、教科書のみでは正解できないので、授業では必ずノートをとること。なお、レポート提出のみでは60点に満たないので、必ず期末試験を受けること。				
<b>履修にあたっての注意・助言他</b>				
教科書は用いないが、「古事記」を購入することを推奨する。				

<b>教科書</b>				
.使用しない。				
<b>プリント資料及び参考文献</b>				
「古事記」の注釈書等。プリント等は配布しない。				
<b>授業計画</b>				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業内容と評価方法の説明</li> <li>2 奈良時代の文字と文章</li> <li>3 古事記の成り立ち</li> <li>4 天地の始まり</li> <li>5 イザナキとイザナミの国生み</li> <li>6 最初の結婚と失敗</li> <li>7 ミトノマガハヒの意味と背景</li> <li>8 日本列島の誕生と九州の由来</li> <li>9 生まれる島々の背景</li> <li>10 神々の誕生と神の数の違い</li> <li>11 イザナミの死と黄泉の国への訪問</li> <li>12 黄泉の国からの逃走とイザナミとの戦い</li> <li>13 續れと覆きの意味</li> <li>14 アマテラスとスサノヲの誕生</li> <li>15 授業のまとめと試験の説明</li> </ol>				
<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>				
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク	
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク	
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			
<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>				
授業の最後に次回の授業の内容を予告するので、調べておくこと。必要時間は3時間。復習として具体的な事例を挙げるので説明できるようにすること。必要時間は1時間。				
<b>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連</b>				
日本の文化について、調査分析し整理できるようになること。				
<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>				
<b>実務経験の有無及び活用</b>				
<b>備考</b>				